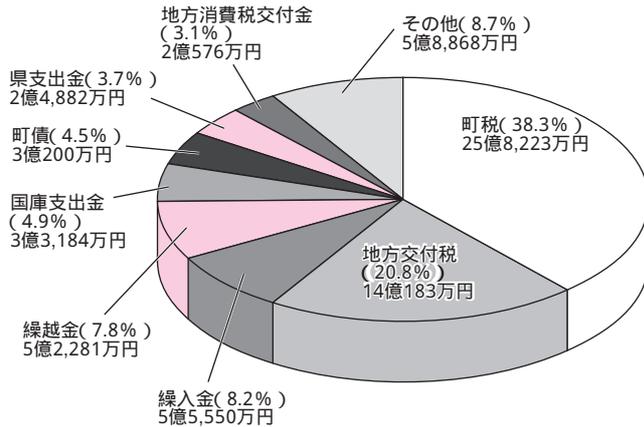


平成13年度

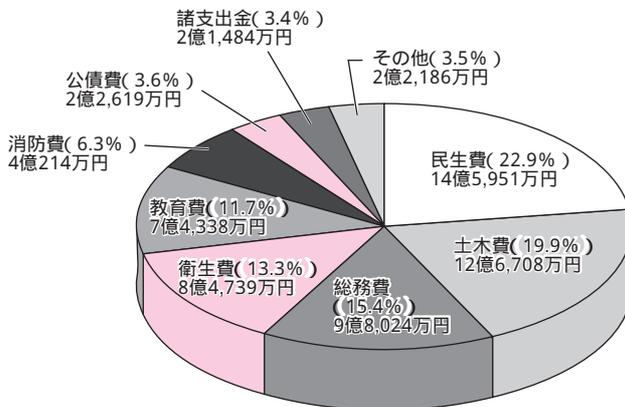
決算状況を公表

町の財政は、町民の皆さんに納めていただいた町税をはじめ地方交付税、国や県からの負担金・補助金などで運営されています。これらの大切な財源は、「住んでよかった」「住んでみたい」「まちづくりの実現に向け、医療費の助成、道路整備などに使われました。

歳入 67億3,947万円



歳出 63億6,263万円



一般会計

町民一人当たり
に換算すると
歳入 30万5,576円
歳出 28万8,489円

(形式収支) 歳入歳出差引額 歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額
 (実質収支) 歳入歳出差引額(形式収支)から翌年度へ繰越すべき財源を控除した額
 (単年度収支) 当該年度の決算による実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額
 (実質単年度収支) 当該年度に基金の積立、取崩しなど歳入歳出面で措置されなかったとした場合、単年度収支がどのようになったのかをみるもの
 実質単年度収支 = 実質収支 - 前年度実質収支 + 基金積立額 + 地方債繰上償還額 - 基金取崩額

一般会計

歳入総額	67億3,947万円
歳出総額	63億6,263万円
形式収支	3億7,684万円
実質収支	3億4,635万円
単年度収支	1億5,567万円
実質単年度収支	4億7,846万円

歳入は、六十七億三千九百四十七万円で、前年度と比較して約二億四千九百九十六万円、三七パーセント増加しました。歳出は、六十三億六千二百六十三万円で、三億八千七百九十三万円、六・五パーセント増加しています。歳入の内訳では、国庫支出金や繰越金が増加したものの、地方交付税や繰入金金が減少しました。また、歳出は衛生費や消防費、諸支出金などが増加し、土木費、総務費などが減少しました。

主な事業として

- 北及長池4号線道路改良事業 二億八百九十四万八千円
- 道路側溝舗装等新設改良及び修繕工事 二億二千四百十三万五千円
- 南部コミュニティ消防センター建設工事 九千七百二万円
- 笠松小学校講堂防音工事 五千八百二十五万円
- 笠松、松枝、下羽栗小学校の施設等修繕工事 四千二百五十四千円